



ゆり組だより11月号

令和3年11月19日 ことり保育園

担当・熊澤

ますます深まる秋を感じながら、自然との触れ合いを、楽しんでいく子どもたち。園庭で拾った落ち葉に穴を空け、「メカネの完成。」イチョウを重ねて「リボンも出来たよ。」と嬉しそうに見せてくれます。

今月から、就学に向け午睡が無くなりました。ある子が「昨日バスで寝ちゃったんだ。」「今日は、眠らないようにたくさん寝たんだよ。」と話していました。就学への意識が芽生えているな...と感じました。今後とも気持ちが高められるような働き掛けをしていきたいです。

さて、おゆうぎ発表会の練習が始まりました。生誕劇の練習での出来事です。1人の子が、保育室に貼って出しているセリフの紙を見て読み合わせをしているときに、「ひらがな分からないから読めない。」と少し耳がずかしそうに伝えてくれました。すると、保育者が答えるよりも先に、隣の子が「〇〇△△って言うんだよ。」と教えてくれました。すると、「そ、か！ありがとうございます。」とお礼を言っていました。

そのやり取りを見て、友だちを思う優しさ、自分の苦手なことを認める勇気に嬉しい気持ちになりました。

子どもは、子どもの中で育つ、正に“そうだな”と感じました。

信じて見守るということも大切なこと

改めて実感した日でした。

寒さが増していきます。体調に

十分気をつけて過ごしていきたいです。



※ 午睡用の布団を、お時間ある時に取りに来てください。